令和6年度　江戸川区立大杉第二小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○　よく考え　すすんで学ぶ子 ○　思いやりのある子 ○　明るく　元気な子	「学校大好き、先生大好き、友達大好き」 豊かな心、確かな学力、一人一人が輝く杉二の子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○「温かい心（敬愛・思いやり・感謝）」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞き、見、話し合い、体験を生かして考える子。互いを尊重し、物や自然を大切にする子。心身ともにたくましく、めあてをもってねばり強くやりとげる子。 ○児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかかわりの中で、様々な課題に気付く教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出すことのできる教職員。考えや発想を実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員。
前年度までの本校の現状	成果	令和５年度江戸川区教育課題実践推進校として、研究課題「学力向上」に向けた取組を行った。週に１回のICT機器を活用しての学習時間である「杉二タイム」や家庭と連携して行う「杉二家庭学習キャンペーン」等を行うことで児童の学力を高めつつ、その成果を授業公開・説明会で発表した。	課題	学力向上の取組の成果が学力調査の結果として表れていないので、引き続き学力向上に向けた取組を行う必要がある。また、体力向上の取組をする必要があり、今年度は取組内容について検討を行い、実践し、児童の体力を向上させられるようにする。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	・「誰一人取り残さないための学力向上に向けたアクションプラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・「杉二タイム」 「江戸川っ子studyweek」等の算数科学習時間の設定。 ・「杉二 よむYOMUタイム」等、読解力を高めるための時間の設定。	・江戸川区学力度定着度調査８割達成児童70%以上。 ・東京ベーシックドリル診断テスト８割達成児童70%以上。											
		・年間６回の研究授業、校内研修を行うことによる教師の指導力の向上。 ・年間１０回の若手研修を行い、若手教員の指導力・学校運営貢献力の向上	・年度末反省「校内研究・校内研修によって指導力は向上しましたか」への教員からの肯定的意見80パーセント以上。											
	○読書科の更なる充実	・週２回の朝読書の実施 ・多読賞の設定 （3年生～6年生１万ページ） ・ビブリオバトルの全校実施 ・調べる学習コンクールへの参加	・多読賞の受賞者100名以上 ・校内アンケート「読書が好きです」への肯定的意見が全校児童の70%以上。 ・１学期にテーマを設定											
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・体力テストの結果を分析し、苦手領域を把握してのコーディネーショントレーニングの実施。 ・年間３０回の朝マラソンの実施及び校内マラソン大会の実施	・体力テストのすべての領域で東京都の平均を超える。											
	○なわ跳びチャレンジを通しての児童の基礎体力向上に向けた取組の充実	・学期に1回のなわ跳びウィークを設定 ・全学年共通のなわ跳びカードで個に応じた取り組みの実施・充実	・なわとび名人達成項目1つ以上の児童が全校児童の30%以上。											
	○多様な運動経験をさせ、児童の運動への愛好的な態度を高める。	・カヌー教室の実施 ・スケート教室の実施 ・ボッチャ体験の実施 ・プロスポーツ選手を招いてのスポーツ体験授業の実施	・校内アンケート「運動は好きですか」への肯定的意見90%以上。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○地域や外部団体とかかわる教育活動の推進	・区役所の方と未来の江戸川区について考える活動 ・ふれあいウェンズディの実施 ・見守り隊の実施	・地域の方や未来の江戸川区について考えることで、生まれ育った地域への愛着信を育てる。 ・地域や外部団体とかかわる活動を年間２階以上行う。											
	○エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジルームの保護者への理解啓発 ・エンカレッジルームと教室をつなぐオンライン授業 ・対象者と担任とのコミュニケーションの充実	・対象者にエンカレッジルーム登校を推進することで、不登校０を目指す。											
	○副籍交流、交流及び共同学習の実施充実	・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・学期に１回以上の復籍交流の実施、及び復籍交流の情報発信。											

令和6年度　江戸川区立大杉第二小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○　よく考え　すすんで学ぶ子 ○　思いやりのある子 ○　明るく　元気な子	「学校大好き、先生大好き、友達大好き」 豊かな心、確かな学力、一人一人が輝く杉二の子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○「温かい心（敬愛・思いやり・感謝）」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞き、見、話し合い、体験を生かして考える子。互いを尊重し、物や自然を大切にする子。心身ともにたくましく、めあてをもってねばり強くやりとげる子。 ○児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかかわりの中で、様々な課題に気付く教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出すことのできる教職員。考えや発想を実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員。
前年度までの本校の現状	成果	令和５年度江戸川区教育課題実践推進校として、研究課題「学力向上」に向けた取組を行った。週に１回のICT機器を活用しての学習時間である「杉二タイム」や家庭と連携して行う「杉二家庭学習キャンペーン」等を行うことで児童の学力を高めつつ、その成果を授業公開・説明会で発表した。	課題	学力向上の取組の成果が学力調査の結果として表れていないので、引き続き学力向上に向けた取組を行う必要がある。また、体力向上の取組をする必要があり、今年度は取組内容について検討を行い、実践し、児童の体力を向上させられるようにする。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
不登校・いじめ対応の充実	○豊かな心の育成	・委員会活動や係・当番活動、異学年交流などの充実 ・長期休業前に生活指導劇を代表委員会が主体となって行うなど、啓発活動の推進	・年間６回のなかよし班活動の実施。 ・年間１０回程度の児童集会の実施。											
	○hyper-QUの活用	・hyper-QUの児童の実態把握に基づいた指導の推進	・hyper-QUの実施結果、学校生活満足群児童40%以上。											
	○教育相談の強化	・スクールカウンセラーとの連携強化 ・スクールカウンセラーによる５年生全員面談 ・担任による全員面談の推奨	・SCと関連する児童の情報共有を確実に行う。 ・年間３回のいじめアンケートの実施											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校（園）ホームページの充実等	・学校ホームページの更新 ・学校要覧の内容変更	・１日１回のホームページの更新の実施。 ・６月中の学校要覧の内容の変更の実施。											
	○学校関係者評価の充実	・児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施	・学期に１回行う、学校評議員会での学校関係者評価の実施。											
特色ある教育の展開	○環境整備とボランティア活動の推進	・花いっぱい活動の実施 ・ボランティア清掃	・児童の主体的な活動											
	○英語と親しむ機会の充実	・ALTと英語講師で行う外国語及び外国語活動の充実 ・ALTと担任で行う、英語と慣れ親しむ時間の確保	・校内アンケート「英語は好きですか」への肯定的意見80%以上。											
	○働き方改革の推進	・月２回の定時退勤日の設定	・残業時間50時間以下の教員達成率100%											